

資料 9

## 手洗いで感染症予防

**手指消毒薬**



画像出典：厚生労働省 (<http://www.mhlw.go.jp/bunseki/kenkou/keikaku-kansenshoubyo/fuehaku.htm>)

流水で手洗いができない場合は、アルコールを含んだ手指消毒薬を使用しましょう。

### 手指消毒の手順

出典：「日本環境感染学会教育ツールVer.3.1より引用」

**1** 消毒薬的S/mLを手のひらに振りまきます（ポンプを1回押しで濃度が約S/mLです）。

**2** 最初に両手の指先に消毒薬をすりこみます。

**3** 次で手のひらによくすりこみます。

**4** 手の甲にもすりこんでください。

**5** 手の間にもすりこみます。

**6** 親指にもすりこみます。

**7** 手指が濡れず指先が乾くまでよくすりこんでください。

指先から消毒するのがポイントです。

とくに食事前や調理前、トイレ使用後には手洗いを！

洗い残しの多いところ  
手の甲側  
手のひら側



NIID 国立感染症研究所  
NATIONAL INSTITUTE OF INFECTIOUS DISEASES  
画像出典：政府インターネットTV (<http://netv.gov.online.go.jp/pa/pa/pa/pa/7162.html#46a-1>)

ポスター「手洗いで感染症予防」

資料 9、10とも(国立感染症研究所 感染症疫学センター)

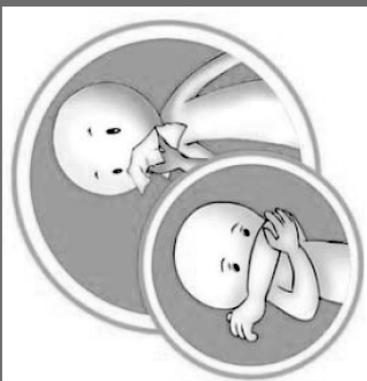
<http://www.nih.gov.jp/niid/ja/disaster/earthquake201604/2377-idsc/6433-kumamoto-qa-poster.html>

資料 10

## 咳エチケットで感染症予防

**咳エチケットとは**  
咳やくしゃみが出たときに周りの人へ病気をうつさないためのマナーです。

### マスクがない場合には？



①咳やくしゃみの際はティッシュで口と鼻をおおきましょう。

②ティッシュ等がない場合には、二の腕で口と鼻をおおきましょう。

マスクがある場合には、正しくマスクを着用しましょう。



画像出典：政府広報 ([http://www.gov.online.go.jp/useful/article/200909/img/06\\_04.gif](http://www.gov.online.go.jp/useful/article/200909/img/06_04.gif))

NIID 国立感染症研究所  
NATIONAL INSTITUTE OF INFECTIOUS DISEASES

ポスター「咳エチケットで感染症予防」

トイレをきれいに使っていただき、ありがとうございます！  
**みんなのトイレ  
 みんなできれいに  
 気持ちよく**

トイレ前には、速乾性アルコール手指消毒薬を設置して、手指衛生を行いましょう。

**用意する物** 使い捨て手袋・ゴム手袋、マスク、ほうき、ちり紙、バケツ、トイレタワシ、消毒薬(ハイターなど)、トイレ掃除シート、新聞紙や雑草、ゴミ袋

**清掃手順**

- 1 マスクと使い捨て手袋(ゴム手袋\*)を着用する
- 2 トイレのドアを開け、風通しを良くする
- 3 ほうきで床をはく
- 4 汚物の入ったゴミ袋を交換する
- 5 バケツの水で消毒薬(ハイター等)を希釈する。[ハイターの場合]はバケツの水1杯(約50L)にキャップ4杯位(約200cc)
- 6 トイレノブ、手すり、水洗レバー、タンク、フタ、便座、便器の外側、タイル(床)等の順で、消毒薬を濡らした布等をひたし、しっかりと拭きとる。
- 7 複数のトイレの掃除を行う際は、各々の環境を清掃してから、便器の清掃をまとめて行う。
- 8 便器の内側は、消毒薬(トイレハイター、ドメスト、サンボールなど原液)をかけ、2~3分後にこすらずに水で流す(汚れには、トイレワックス等を用いる)
- 9 手袋をはずし、なくなっているトイレレバーペーパーを補充する
- 10 清掃が終わったら、手洗い\*\*をする

\*1 消毒薬の原液やワックスなどは使用しない。原液は、手すりのゴム手袋が厚手(小さい)。  
 \*2 清掃時に使う雑草や新聞紙は、事前に、その場の風向きを確認し、風下側に捨てる。  
 \*3 消毒薬が腐敗していない場合は、消毒薬がアルコールが揮発している。  
 \*4 水漏れが確認していない場合は、消毒薬がアルコールが揮発している。

**消毒薬を使う際の注意**

- 1 消毒薬が乾くのを待たず、すぐに手を拭き取る。
- 2 消毒薬を乾かすまで、手は乾かさない。

宮城県、石巻市立病院、東北大学大学院医学系研究科 感染症学分野、臨床微生物学研究所、  
 感染症学地域連携推進課、東北感染症対策ネットワーク

避難所、応急仮設住宅等で  
お過ごしのみなさまへ

**ハエ、蚊などから  
くらしを守るために  
入れない、つかまえる、発生させない  
いま、できること**

**1. ハエ、蚊を屋内に入れないためにできること**

**①** **ハエのカーテン**

応急仮設住宅等の玄関扉の内側に「玄関カーテン」と呼ばれるメッシュのカーテンを取り付けると、ハエや蚊が玄関から入ってくるのを防ぐことができます。

**②** **防虫ネット2枚を1mほど重ねて2重に設置する**

学校施設が避難所になっている場合は、出入口が穴きく開いています。防虫ネット2枚を1mほど重ねて2重に設置し、人はネットの隙をくぐり抜けるように入りますと、ハエや蚊が入ってくるのを防ぐことができます。

避難所におけるトイレ清掃のポイント(東北感染症危機管理ネットワーク(東北大学大学院医学系研究科 感染防御・検査診断学分野))  
[http://www.tohoku-icnet.ac/shinsai/hotline\\_jppan.html](http://www.tohoku-icnet.ac/shinsai/hotline_jppan.html)

リーフレット 避難所・応急仮設住宅等で過ごしのみなさまへ  
 「ハエ、蚊などからくらしを守るためにいま、できること」  
 (国立感染症研究所) <http://www.nih.go.jp/niid/ja/id/2128-disaster/ent.html>

# 「やさしい日本語」が 外国人被災者の命を救います。



災害が起きた時、どうすれば彼  
等に外国人被災者に災害情報を  
伝えることができるのか？(阪神・  
淡路大地震) 直後に開始した私  
たちの研究は、調査・実践を繰  
り返しながら、どの国の人も  
理解できる「やさしい日本語」  
での情報提供を提案しています。

写真提供：  
防府ボランティア情報・集結を促す会



## 「やさしい日本語」ってどんなことば？

**A**は、阪神・淡路大震災の起きた1995年1月17日の朝7時に放送されたテレビニュースをもとにした文です。  
今朝、5時46分ごろ、兵庫県淡路島付近を中心に広い範囲で強い地震がありました。  
気象庁では、今後もしばらく余震が続くうえ、やや規模の大きな余震が起きるおそれもあるとして、  
地震の揺れで壁に亀裂が入ったりしている建物には近づかないようにするなど、余震に対して十分に  
注意してほしいと呼びかけています。

### 「やさしい日本語」に言い換えるときの基本原則

<b>1</b> 重要度が高い情報だけに絞る	<ul style="list-style-type: none"> <li>「何が起きたか」を伝える情報</li> <li>「これから注意すること」は何か、を伝える情報</li> <li>「具体的に注意する事項」を伝える情報</li> </ul>
<b>2</b> あいまいな表現は避ける	<ul style="list-style-type: none"> <li>「今後もしばらく余震が続くうえ」のような表現</li> <li>「やや規模の大きな余震が起きるおそれがあるとして」のような表現</li> </ul>
<b>3</b> 難解な語彙を言い換える	<ul style="list-style-type: none"> <li>「今朝」を(今日 朝)のように言い換える</li> <li>「危険」を(危い)のように言い換える</li> <li>「確認する」を(よく 見る)のように言い換える</li> <li>「警戒する」を(気を つける)のように言い換える</li> <li>「亀裂が入ったりしている建物」を(地震で こわれた 建物)のように言い換える</li> </ul>
<b>4</b> 知っているのと仮に立つ災害語彙 <sup>※</sup> には「やさしい日本語」に言い換えた表現を添える	<ul style="list-style-type: none"> <li>「余震」→余震(様で 来る 地震)</li> <li>「避難所」→避難所 (みんなが 逃げる ところ)</li> <li>「緊急出動」→救助出し (危い、食や物を 持って 来る)</li> <li>「津波」→津波(とても 高い 波)</li> </ul>
<b>5</b> 複雑でわかりにくい表現は、文の構造を簡単にする	<ul style="list-style-type: none"> <li>200番地が津波に吞まれるより一文を短くする</li> <li>別の意味が津波に吞まれるより文節に区切りを入れる</li> <li>「気象庁では」から始まる一文が示す情報を「余震」と「こわれた建物」に注意する情報に分け、二分で表現する</li> </ul>

**B**は「やさしい日本語」に言い換えたものです。

今朝 5時46分、兵庫県 大阪などで、大きい 地震が ありました。  
余震(後で 来る 地震)に 注意して ください。  
地震で こわれた 建物に 注意して ください。

※災害語彙 日本人は理解できないが、日本人なら知っている単語と置き換える語彙のこと。災害が起きたときに身の安全を守るための必要な単語。  
<http://human.cc.hirosaki-u.ac.jp/kokugo/EJ100go-gaiyou.html>

## 資料 14

## 災害時の医療チーム・専門チーム・外部支援者等

\*URL は全て平成 28 年 12 月 15 日アクセス

分類	名称	活動内容・特徴	資料・URL*
医療 看護	DMAT 災害派遣 医療チーム	DMAT(Disaster Medical Assistance Team) ・DMATは災害発生直後の急性期(概ね48時間以内)に活動が開始できる機動性を持った、専門的な研修・訓練を受けた医療チームである。 ・DMAT1隊の構成は、医師1名、看護師2名、業務調整員1名の4名を基本とする。 ・DMATは、本部活動、広域医療搬送、病院支援、地域医療搬送、現場活動等を主な活動とする。 ・DMATの派遣は、被災地域の都道府県の派遣要請に基づく(但し緊急の場合は、厚生労働省は都道府県等にDMAT派遣を要請できる)。	日本DMAT活動要領 (平成28年3月改正)
医療 看護	JMAT 日本医師会 災害医療チーム	JMAT(Japan Medical Association Team) ・JMATは、被災者の生命及び健康を守り、被災地の公衆衛生を回復し、地域医療の再生を支援することを目的とする災害医療チームである。 ・JMATは、災害発生時、被災地の都道府県医師会の要請に基づく日本医師会からの依頼により、全国の都道府県医師会が都市区医師会や医療機関などを単位として編成する。 ・医師、看護師等により編成され、主に災害急性期以降における避難所・救護所等での医療や健康管理、被災地の病院・診療所への支援を行う。	日本医師会ホームページ 「JMAT要綱」 <a href="http://www.med.or.jp/doctor/report/002049.html">http://www.med.or.jp/doctor/report/002049.html</a>
医療 看護	日本赤十字社 救護班	・全国の病院、施設に約500班の救護班(医師、看護師等)があり、47都道府県を6ブロックに分けて活動する(東京都は2ブロック:茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、神奈川県、東京都、山梨県、新潟県)。 ・救護所の設置、被災現場や避難所での診療、こころのケア活動などを行う。 ・被災地入りした救護班の救護活動は、被災地支部長(47都道府県支部)の指揮命令下で実施される(DMAT活動を行う場合はDMAT現地活動本部の調整下に入る)。	日本赤十字社ホームページ <a href="http://www.jrc.or.jp/">www.jrc.or.jp/</a>
医療 看護	DPAT 災害派遣精神 医療チーム	DPAT(Disaster Psychiatric Assistance Team) ・都道府県・政令指定都市によって組織される、専門的な研修・訓練を受けた災害派遣精神医療チームである。 ・精神科医師、看護師、業務調整員等で編成される。 ・災害拠点病院、精神科の基幹病院等に設置されるDPAT活動拠点本部に参集し、その調整下で①地域精神科医療機関の機能補完、②一般住民への対応、③支援者の支援等を行う。 ・被災地域の都道府県等からの派遣要請に基づき派遣される。 ・DPATの活動に関する情報共有、活動記録、集計等はDMHISS(災害精神保健医療情報支援システム)を用いて行う。	国立精神・神経医療研究センター 「DPAT活動マニュアル ver.1.1 (平成27年1月)」 <a href="http://saigai-kokoro.ncnp.go.jp/pdf/dpat_003_131227_2.pdf">http://saigai-kokoro.ncnp.go.jp/pdf/dpat_003_131227_2.pdf</a>  「DPAT活動要領について」(平成26年1月7日 障精発0107第1号)
医療 看護	AMAT 全日本病院協会 災害時医療支援 活動班	AMAT(All Japan Hospital Association Medical Assistance Team) ・全日本病院協会が派遣を要請する医療チームである。 ・医師、看護師等で編成され、1隊あたり48~72時間以内の活動を基本とする。 ・原則、被災地の幹事指定病院に参集し、病院支援及び被災現場、医療救護所、避難所等における業務を主な業務とする。	公益社団法人全日本病院協会 AMAT活動要領 (平成28年8月改正) <a href="http://www.ajha.or.jp/hms/amata/pdf/160902a.pdf">http://www.ajha.or.jp/hms/amata/pdf/160902a.pdf</a>
医療 看護	JHAT 日本災害時 透析医療協働 支援チーム	JHAT(Japan Hemodialysis Assistance Team in disaster) ・複数の透析医療関連団体(日本血液浄化技術学会、日本臨床工学技士会、日本腎不全看護学会、日本透析医会)で構成される。 ・チームは所定の講習を受けた看護師及び臨床工学技士により構成され、JHAT本部が派遣調整を行う。 ・情報収集、被災地の医療機関の透析業務支援、物資の仕分け及び配送のコーディネートを行う。	日本災害時透析医療協働支援 チーム活動要綱 (平成28年10月改訂) <a href="http://www.jyouka.com/jhat/JHAT_katsudouyoukou.pdf">http://www.jyouka.com/jhat/JHAT_katsudouyoukou.pdf</a>

## 災害時の医療チーム・専門チーム・外部支援者等

\*URL は全て平成 28 年 12 月 15 日アクセス

分類	名称	活動内容・特徴	資料・URL*
看護	日本看護協会 災害支援ナース	<ul style="list-style-type: none"> <li>看護職能団体の一員として、被災した看護職の心身の負担を軽減し支えるよう努めるとともに、被災者が健康レベルを維持できるように、被災地で適切な医療・看護を提供する役割を担う看護職であり、都道府県看護協会に登録されている。</li> <li>発災後3日以降から1か月を目安に活動し、派遣期間は移動時間を含めた3泊4日とされている。</li> <li>災害の規模に応じて、レベル1・2・3(1:被災県の看護協会のみで対応可能、2:近隣都道府県看護協会がナース派遣、3:全国の都道府県看護協会がナース派遣)に対応区分を分け、都道府県看護協会が派遣調整を行う。</li> </ul>	公益法人日本看護協会 「災害支援ナース派遣要領」 <a href="https://www.nurse.or.jp/nursing/practice/saigai/pdf/hakenyoryo.pdf">https://www.nurse.or.jp/nursing/practice/saigai/pdf/hakenyoryo.pdf</a>
栄養	JDA-DAT	JDA-DAT(The Japan Dietetic Association-Disaster Assistance Team:日本栄養士会災害支援チーム) 日本国内外で大規模な自然災害が発生した場合に、迅速に被災地内の医療・福祉・行政栄養部門等と協力して緊急栄養補給物資等の支援を行う。 <b>【出動基準】</b> 以下の出動基準を元に、自ら又は日本栄養士会、国・自治体等からの要請を受けて出動する。 ①複数の大規模避難所が設置されると見込まれる場合、②被災者の栄養管理が必要と判断され、出動することが効果的であると認められる場合、③国あるいは都道府県、都道府県栄養士会などから出動要請があった場合 <b>【活動内容】</b> ①情報収集:被災地の医療・福祉・行政栄養部門と連携し、情報の収集・伝達・共有化を行う。 ②緊急栄養補給物資の支援:必要物資の内容・量を把握し、物資の手配・分配の指揮を行う。特殊な栄養食品などについては、日本栄養士会に支援要請ができる場合もある。 ③栄養補給:被災施設・避難所などで責任者の許可のもと、個人に対して直接栄養補給の支援を行う。 ④対応の困難な被災者への支援:医療機関への連絡などの対応を行う。	日本栄養士会ホームページ 「災害支援」 <a href="http://www.dietitian.or.jp/about/concept/jdadat/">http://www.dietitian.or.jp/about/concept/jdadat/</a>
リハビリ	JRAT 大規模災害 リハビリテーション 支援関連 団体協議会	JRAT(Japan Rehabilitation Assistance Team) ・日本リハビリテーション医学会をはじめ13団体(平成28年8月現在)から成る、リハビリテーションの立場から支援を行うチーム ・DMAT等の医療チーム、行政と協力し、①被災高齢者や障害者に対するリハビリテーションや福祉用具の助言・指導、②不活発予防のための運動指導、③仮設住宅のバリアフリーについての助言・指導、④その他リハビリテーションに関する支援を行う。	JRAT/パンフレット 「熊本地震を踏まえた応急対策・生活支援策検討ワーキンググループ」(第2回)参考資料 <a href="http://www.bousai.go.jp/updates/h280414jishin/h28kumamoto/okyuseikatu_wg.html">http://www.bousai.go.jp/updates/h280414jishin/h28kumamoto/okyuseikatu_wg.html</a>
公衆衛生	DHEAT 災害時健康 危機管理 支援チーム	DHEAT(Disaster Health Emergency Assistance Team)(平成28年時点も検討中) ・予め研修を受けた都道府県等の公衆衛生医師・保健師・業務調整員・その他の専門職により構成される。 ・災害発生時に被災都道府県等に派遣され、被災自治体の災害時の指揮調整機能を補佐する。	平成28年度災害時健康危機管理支援チーム養成研修(基礎編)資料(平成28年8月4日)